

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 臨時理事会(令和2年度)

議事録

【日時】令和2年6月3日(水祝)20:00~21:30

【会場】WEB 理事会(WEB 会議アプリケーション Zoom 使用)

定刻に WEB 参加役員 15 名の出席(会議アプリケーション Zoom を使用)を確認し、WEB 出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっている事を確認し、本会議は成立した事を議長清水(慎)が宣言した。

【次第】1、出席確認 2、議長選任 3、議事 4、議事録署名人選任 5、閉会の辞

【出席 15 名】理事:秋澤、大屋、北原、草山、古思、清水(慎)、清水(克)、宋、長野、

橋口、秦、平岡、藤田

監事:日野、森下

【議長】清水(慎) 【書記】藤田

【議題】

〔I〕報告事項

1. 入退会報告

入退会状況については、藤田前総務統括副会長より予定された理事会である第 3 回理事会で報告する事が説明された。

2. みなし決議案について:藤田前総務統括副会長

口頭にて、以下の報告があった。

①5/1 入会審査(井合貞美氏)の件(5/14 承認)

3. 会務報告

(1)令和2年度定時総会:藤田前総務統括副会長

コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の現況化において、つつがなく執り行われた事の報告があった。

また、総会においては、第 1 号議案~第 8 号議案まで(役員等報酬支給規程改正案および役員改選を含)全てが承認された事の報告があった。

4. 各部報告

(1)危機管理委員会:秦前危機管理委員長

口頭にて、5/10に第1回、6/1に第2回危機管理委員会を開催し、秦、平岡、東京都鍼灸師会秋元氏が参加、方法は WEB アプリケーション LINE を使用したことの報告があった。そこでは第 6 回災害医療研修会を 10/25(日)に予定している旨、新型コロナウイルス感染症をテーマとする事、内容は鍼灸院での経営破綻なども含め講師には当会会員石田伸氏へ打診している事の報告があった。

(2)組織共済部

・入会審査について:清水(克)組織共済部長

現在、山内誠一郎氏より正会員入会希望があり、改めてみなし決議にて審議に諮る事が報告された。

* その他の会務報告については、今回は臨時理事会のため各部からは改めて第 3 回理事会で報告する旨の報告があった。

5. その他

(1) 神鍼会ビジョン2025について: 藤田前総務統括副会長

資料に基づき、説明、報告があった。なお、補足として、①2018 年度の理事会において会費見直しの検討が理事会で始まり、その事より会員に対しアンケート調査を行い、会員の意図を汲んだ理事会の基本指針として作成した事、②総論的な資料であり、各論や方略については理事会の方針の連続性を保ちつつ、理事会で議論し意義や優先度、また収支計画を考え理事会で立案していくものである事の説明があった。

(2) 理事の活動について: 藤田前総務統括副会長

資料に基づき、説明、報告があった。なお、補足として、まずは前任者や統括副会長などに相談する事、部内での共有を図る事の説明があった。

(3) 守秘義務(誓約書)について: 藤田前総務統括副会長

理事の活動に併せ、社団法人の役員として、理事会で発信が決まっていない内容についての不用意な発言や発信について注意する旨の説明があり、役員および事務局職員、また各部部員に(前期より行っている)誓約書の記載を後日依頼する事の説明があった。

〔Ⅱ〕審議事項

(1) 役職委任について: 清水会長

資料に基づき、役職の委任が説明され、全会一致で承認された。
なお、役職については以下の通りとなった。

会長 清水 慎司、副会長(共益事業統括) 草山 真紀夫、副会長(危機管理委員長) 秦 宗広、副会長(公益事業統括、法人管理統括、総務部長) 藤田 洋輔、業務執行理事(財務部長) 古思 成人、理事(組織共済部長) 清水 克紀、理事(学術部長) 大屋 朗、理事(広報部長) 平岡 遼、理事(普及部長) 秋澤 泰久、理事(広報 IT 担当) 宋 順姫、理事(保険部長) 長野 純也、理事(保険副部長) 橋口 知光、理事(総務副部長) 北原 奈那、監事 森下 元、監事 日野 博

(2) 日鍼会関東信越ブロックにおける埼玉県鍼灸師会からの 7/19 学術講習会共催の件: 草山副会長口頭にて、現在、日鍼会関東信越ブロックにおいて、埼玉県鍼灸師会より 7/19 学術講習会において、ブロック内に単回での共催の申し出があった事の報告があった。

詳細は、共催費は 1 万円、日程は 7/19(日)、内容はスポーツ領域として 3 名の講師(横山奨氏、田中良和氏、鳥海春樹氏)を予定、共催の場合は参加者を共催県にリストとしてフィードバックする事となっている事の報告があった。

理事各位からメリットやデメリット、リスクなどの質問があり、草山副会長、藤田副会長、大屋学術部長より、大きい視点では今後のブロック内の協調に繋がる旨、身近な視点では 1 万円の金額で講習会を受講できるのは、当会や会員にとってメリットと考えるとの回答、リスクとしては、当会の支出(1 万円)増える事、共催しない場合の当会会員(日鍼会他県)の参加費は 1,500 円であり、6 人以下の参加者の場合はメリットが無い旨の説明があった。

理事各位より、格安での参加のメリット、ブロック内連携のメリット、元来 1,500 円であれば決して高い金額ではなく参加者が各自支払う事で良いのではないかとの意見、また、当会でも同様に学術講習会の共催の申し出をしてはどうか、との意見が挙げられた。

意見や質問が出尽くしたところで、賛否決議を行い、賛成多数で可決した。

なお、本年度当会で予定している 4 回の学術講習会もブロック内にて共催を申し出る方向で進める事も共有された。また、他県に共催を呼び掛ける際は、事前に理事会審議する事とした。

(3)次回郵送物について:藤田副会長

7/1のWEBイブニングセミナーも近いため、6/12(金)郵送、締切6/10での郵送を行いたい旨の提案があった。

全会一致で承認した。

なお、今回の郵送物は締切日程に近い事を考慮し、新理事の紹介・挨拶、7/1イブニングセミナーの案内、会長挨拶、当会メーリングリスト作成のみとする事とした。

5. 閉会の辞:清水会長

21:30を持って、理事会が終了する事が宣言された。

次回、令和2年度第3回理事会は、10月4日(日)14:00～16:00にて開催予定だが、学術講習会が予定されているため改めて相談の予定

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

令和2年6月3日

代表理事 清水慎司



監事 日野博



監事 森下元

